

事務事業評価の評価結果について（平成26年度の事業に対する評価）

香良洲総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
香良洲・地域振興課	地域かがやきプログラム事業（香良洲総合支所）	東部エリアでは、市の政治、文化、経済の中心的エリアとして、「知」の情報を様々な機会を通じて発信できる拠点づくりや、市民、企業、大学等高等教育機関との連携による地域を担う人材育成と地域連携による交流のまちづくりを目指します。また、ユニバーサルデザインの考え方について、地域に広く浸透することが必要であり、地域住民、団体等との協働により、住民を対象とした講演会の開催や啓発活動（模擬体験、展示会）などを実施し、地域住民の意識高揚を図り、実践につなげます。地域の創意工夫を生かし、地域特性に応じた事業の促進を図ることにより、地域の産業・観光振興、地域スポーツの振興及び健康づくり、地域の文化・芸能等の振興づくり及び人材育成等に寄与します。	事業数	上記指標設定の考え方及び様々な事業を通して、地域づくり・人材育成等に寄与してもらうために上記指標とします。	6事業	6事業		地域住民や市内外からの参加者等幅広い年齢層の参加を得て、6事業を実施しました。	4	地域住民や市内外からの参加者等幅広い年齢層の方が、気軽に参加できるまつり、イベント、スポーツレクリエーションを開催し交流の場を提供することで、伝統行事を活かした賑わいの創出、人材育成、後継者育成を図るとともに地域の活性化、心豊かで生きがいのある暮らしづくりを支援することができました。ユニバーサルデザインのモデル地区として、地域内外の啓発活動を継続し安心安全なまちづくりに寄与します。	拡充・充実	地域の創意工夫を生かし特色を盛り込んだ事業の促進を図ることにより、地域の産業・観光の振興及び健康づくり、地域の文化・芸能等の振興、地域づくり及び人材育成に寄与しました。市民に対するユニバーサルデザイン意識の高揚と実践が主な目的であり、市全域での取り組みが課題です。
香良洲・地域振興課	地域インフラ維持事業（香良洲総合支所）	道路、河川、公園及び交通安全施設等、地域インフラの維持修繕に関し、総合支所長の権限でフレキシブルに即時対応します。	要望対応件数	地域から要望がある道路、河川、公園及び交通安全施設等に係る維持・修繕について迅速に対応します。	50件	43件	安全な市民生活のための香良洲地域内インフラ維持	迅速な対応による安全な市民生活の確保。要望に対しては、概ね対応できました。	4	優先順位の高いものから施工することができ、地域要望を早期に実現することができました。	現状維持	地域要望等に基づく道路、河川、公園及び交通安全施設等の地域インフラの維持事業について、単価契約による業務委託及び施設修繕等において即時対応を行います。
香良洲・地域振興課	地域インフラ補修事業（香良洲総合支所）	従来から地域活性化支援事業として、身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、独自の予算措置による地域の原材料費の支給や、総合支所職員（技能員等）の配置による公共施設等の簡易な補修、修繕に係る対応を行ってきました。このような中、地域における即答・即応の更なる対応が求められる案件について、総合支所長の権限のもと、当該総合支所の予算管理（財源）によって、より一層迅速かつ直接的に、しかも柔軟に対応し得る「地域インフラ補修事業予算」を創設・予算化するとともに、改めて総合支所職員（技能員等）の増員配置（各総合支所につき2人）を行い、地域に密着した対応を図ります。	対応率	地域から要望がある道路、河川、公園及び交通安全施設等に係る補修について迅速に対応します。	80%	96.7%	安全な市民生活のための香良洲地域内インフラ補修	迅速な対応による安全な市民生活の確保に繋がりました。要望に対しては、概ね対応できました。	4	多くの要望に迅速に対応することができました。	現状維持	地域において即答・即応が求められる案件に、より一層迅速かつ的確に、しかも柔軟に地域に密着した対応を図るため、総合支所職員等が公共施設等の簡易な補修、修繕及び地域への原材料の支給を行ってまいります。

香良洲総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
香良洲・地域振興課	地域情報発信事業	地域住民の活動に対する情報提供を行うことにより、地域支援を行い住民の相互協力の向上に寄与することを目的とします。	地域だよりの発行回数	地域の話が中心である「香良洲かわら版」を発行することにより、地域支援等にも寄与すると考えるため、地域だよりの発行回数を指標設定とします。	4回	4回		年に4回地域だよりを発行しました。	4	発行目標4回に対し、4回発行できました。	現状維持	現状どおり維持していきます。
香良洲・地域振興課	サンデルタ香良洲管理運営事業（香良洲総合支所）	芸術鑑賞、発表、練習の場として活用いただくことにより、市民文化の振興を図ります。併せて、安全・安心を最優先に適切な維持・管理を行います。	施設利用者数	複合施設として、幅広い年齢層に利用してもらうための施設であるので上記指標とします。	52,000人	47,106人		ホール舞台照明設備等改修工事に伴い、14日間利用休止したため目標数値を下回りました。	3	舞台照明設備等改修工事により、ホールの利用を制限したことから貸館利用者数が減となり目標数値を下回りました。施設修繕等については、後期基本計画重点プログラムに示された大規模改修工事等の環境整備を推進します。	現状維持	本年度は、屋上防水等改修工事を行います。また、一般修繕として、ガス調整器・パコティンヒーター・煤煙濃度計等の不良箇所について、計画的な修繕を実施します。
香良洲・地域振興課	体育館管理運営事業（香良洲総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりの拠点施設であることから、安全・安心を最優先に適切な維持・管理に努めます。屋内運動施設としバレーボール、ソフトバレー、バドミントン、卓球など手軽にできるスポーツの使用が出来ることから、スポーツ振興を図ります。	施設利用者数	多くの市民に利用してもらうための施設であるので上記指標とします。	15,000人	16,066人		新規大会の開催により利用者が増となりました。	3	主にバレーボール、バドミントン、卓球種目で利用されています。近隣の学生クラブ等の常連利用もあり、各年齢層から慕われています。設備修繕等については、消防設備の修繕や事務所の雨漏り修繕、南面一部カーテンの取替を行いました。消火栓設備の抜本改修等を行なう必要があります。	現状維持	施設の老朽化に伴う設備及び備品等の不具合箇所を数件把握しています。平成27年度は、屋内消火栓設備の抜本改修を予定しています。利用者の満足度を高めるため、早急に修繕等を実施したいと思います。
香良洲・地域振興課	グラウンド管理運営事業（香良洲総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に適切な維持・管理を行います。多目的グラウンドとして野球及びサッカー、ソフトボール等、多種多様な種目が使用でき、かつ交通アクセスがよいことから更なる利用促進を図ります。	施設利用件数	多くの市民に利用してもらうための施設であるので上記指標とします。	280件	110件		常連団体の利用が無くなったことにより、大幅に利用件数が減となりました。	3	常連団体がサッカー利用に適した施設を利用することとなったため、大幅に利用件数の目標値を下回りました。利用者が安全に気持ちよくプレーできるようソフト面(凹凸及び転圧)の整備充実を本年度も実施しました。	現状維持	利用者の満足度を高めるため、施設の老朽化等に伴う不具合箇所については、適切に補修等を実施いたします。特にトイレの抜本改修が課題であります。グラウンドの凹凸補修並びに転圧を実施したところ、利用者から喜ばれました。年1回の実施ですが複数回の実施が最善と思います。
香良洲・地域振興課	テニスコート管理運営事業（香良洲総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に適切な維持・管理を行います。天候に左右されることが少なく、テニス愛好家のための施設としてのスポーツ振興を図ります。	施設利用者数	多くの市民に利用してもらうための施設であるので上記指標とします。	300人	495人		新常連会員の利用により増となりました。	2	経年劣化によりひび割れが生じていることから利用者に不快感を与えます。平成22年5月津市スポーツ施設整備基本構想において、フットサルコートなど他の用途への転用を検討する旨、方針が示されています。	見直し	平成25年度策定のスポーツ振興計画後期基本計画において、利用者ニーズに対応した新たな運動施設の整備が計画されました。

香良洲総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
香良洲・地域振興課	プール管理運営事業（香良洲総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に適切な維持・管理を行います。幅広い年齢層に利用いただく施設で、特にスライダー、幼児用プールに利用者から好感を得ています。	施設利用件数	多くの市民に利用してもらうための施設であるので上記指標とします。	8,000人	5,997人		天候不順により利用者減となりました。	3	6月中旬から幼・小学校の水泳学習で活用している。（数値目標に含まれない） 目標数値は、天候状況により左右されますが、広報等の充実に努めました。 サッカー場側の側溝地盤が数センチ陥没しているの見逃し、児童が側溝蓋に足を掛けたところ蓋が外れ足に擦り傷を与えてしまいました。このような事態が発生しないよう維持修繕に努め、安全性の確保を行いました。	現状維持	老朽化に伴う不具合設備の修繕等を行い、安心して利用されるプール運営に努めます。 広報活動の充実に努めます。地盤沈下によりプールの平面に凹凸が発生しており、利用者の安心な歩行に支障をきたすことからプール開始前に改修します。
香良洲・地域振興課	その他運動施設管理運営事業（香良洲総合支所）	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に適切な維持・管理を行います。サッカー場とパターゴルフ場の運営であり、地域住民の生涯スポーツの振興を図ります。	施設利用者数	市内では、数少ない少年サッカー場並びにパターゴルフ場であることから、サッカー場はスポーツ少年団の練習や大会に活用されます。パターゴルフ場は、高齢者の健康づくりとふれあいの場として、毎日利用されることから上記指標とします。	24,000人	24,915人		目標値達成	3	サッカー場の凹凸補修並びに転圧作業を業務委託で行い面整備を昨年引き続き実施いたしました。また、オサスコ杯サッカー大会の主会場となった要因等から利用者増となりました。 パターゴルフ場については、人工芝の張替えや排水整備等の改修工事が必要であります。広報活動等の工夫により利用者の発掘に努める必要があります。	現状維持	施設の老朽化に伴う維持修繕に努め、利用者の満足度向上と安全性の確保を図ります。サッカー場の面整備（転圧等）の毎年実施したいと思えます。パターゴルフ場の人工芝張替えについては、今後において実施します。
香良洲・地域振興課	ごみ減量対策事業（香良洲総合支所）	香良洲地域の家庭ごみの分け方・出し方は、合併前より他の地域とは異なる形態となっています。「燃やせるごみ」と「容器包装プラスチック」以外の「燃やせないごみ」や「リサイクル資源等」については、香良洲町内に一箇所の香良洲エコ・ステーションへ搬入させ、香良洲エコ・ステーション管理及びごみ収集運搬業務において民間委託にて、ごみの分別の徹底及び排出の指導と啓発を行い、ごみの減量化・リサイクル化を推進します。	エコステーション管理並びに資源ごみ拠点回収及び搬出業務委託	ごみの分別、排出の適正な指導、啓発を行い、効率的な収集に努めます。リサイクル資源の回収を行い、ごみの減量化を図ります。	16,442,000円	16,396,560円		適正なエコステーション管理及び運搬業務	4	エコ・ステーションの管理及び運搬業務については、適正な運営管理を行っています。また、ごみの分別及びリサイクルの推進を図るため、住民に対してきめ細かな指導を行っています。	現状維持	香良洲ごみステーションから香良洲エコ・ステーションに名称が変わり広く市内全域から搬入できるようになり、加えて小型電子機器も回収対象となったことから住民に対して更なる分別とリサイクルへの周知徹底を行っています。また、委託業者に対して、場内の適正な管理及び運搬業務の指導も行っています。
香良洲・地域振興課	ごみ収集事業（香良洲総合支所）	一般家庭ごみ（燃やせるごみ、容器包装プラスチック）の分別収集の実施により、ごみの減量化及びリサイクル化を推進し適正な排出を行います。	ごみ収集運搬業務	家庭ごみ収集（一般廃棄物）に実施しました。ごみ分別、排出の適正な指導、啓発を行い効率的な収集に努めます。リサイクル資源の回収を行い、ごみ減量化を図ります。	17,286,000円	17,091,000円		ごみ分別、排出の適正な指導・啓発ができました。平成26年度以降も分別収集の徹底を図り、リサイクル等によりごみの減量化を行います。	4	ごみの減量化・リサイクル化について、住民の意識向上を図ることができました。	現状維持	住民生活の基礎となることから、住民に対し、より一層の分別収集への意識向上に努めます。